

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	クオリティ・オブ・ライフ保土ヶ谷支援教室				公表日	令和8年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	法定以上のスペースを確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	基準となる人員・加配の人員を配置できている。	法定上の配置はできているが、土曜日を開所するためにはさらに採用を進めたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	掲示によりわかりやすくしている。玄関にはスロープがある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個室ではないが、静養スペースや相談スペースを設置しており、勉強に集中したいときにも使用できるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年事業所評価を実施している。	提出はしていただけているが、ご意見はあまりいただけていない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員間でのコミュニケーションはよく取れており、都度意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		第三者評価としては行っていないが、職員評価と保護者評価の二者で行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	法人内で虐待防止や衛生などの委員会を設置し、研修も行っている。	研修費用が個人負担になってしまうことがあった。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、ホームページで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	定期的に保護者面談を行い、ニーズを確認したうえで計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	全職員で個別支援計画のチェックを行い、最終的な計画作成に向け意見交換を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	全員で個別支援計画の内容をチェックしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々の状況を職員間で共有しアセスメントとしている。	標準化されたアセスメントツールは使用していない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個別支援計画は本人支援・家族支援・移行支援の項目で目標を設定して作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員間で相談しながら支援の内容を立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	カリキュラムは曜日で固定しているが、内容を固定化させすぎないように注意している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	基本は集団活動としての計画としており、児童の状況等必要に応じて個別対応もできるよう支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	職員間で相談しながら支援の内容を確認して役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	情報は職員間で密に共有している。	送迎後に振り返りを行うが、帰社時間により当日中にできないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回支援の記録を作成し、情報を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	少なくとも6か月に1回の割合でモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	4つの基本活動のうち『地域交流』は少なくなっているが、季節のイベント等で参画することができた。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	普段のコミュニケーションの中から、児童の発達に合わせて自分自身で行動を選択するような声かけを心がけている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%	児発管が参画の予定。	利用者全員がセルフプランのため、まだ相談支援事業所の担当者会議への参加はない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	連携の体制は取れている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	日々の送迎時に先生方とコミュニケーションが取れ、必要に応じて関係機関連携も行っている。	キッズを利用の児童が増えてきており、送迎時に担任の先生と会えないことがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60%	40%	保護者を通して情報を共有することがある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	40%	60%	現状該当者なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	20%	80%		地域の支援センターとの連携は取れていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	近隣にある同グループ内の事業所と一緒にカリキュラムを行う等交流を図っている。	地域のこどもとは公園遊び等で一緒になった場合等に、関わりがある程度。積極的には交流できていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		職員人数や時間の兼ね合いで、なかなか参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の支援記録を確認してもらい、送迎時や面談等でお話しし共通理解も持っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		送迎時のお話しや面談等で家族支援は行っているが、プログラムにはできていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時や変更があった際に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	本人・家族の意向を確認したうえで個別支援計画を作成し、サービスを提供している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	個別支援計画の内容を確認していただき、サインとご捺印をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	日頃から連絡を取り、送迎時や面談の際に限らずご相談いただける環境になっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	保護者会を実施した。	意見交換等は行えたが、交流の場としての機会になったとは言えないかもしれない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	事業所内で担当を決め対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	カリキュラムのカレンダーは毎月発行しており、定期的に児童の様子を載せたお知らせも発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報記載されたファイルや書類等は鍵付きのロッカーに保管している。情報漏洩にならないよう研修も実施している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	理解しやすい声かけや方法を意識して行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	地域住民の招待は行っていないが、季節行事での交流や保護者向けの発表会を予定している。	地域参画ができるようなカリキュラムを企画していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	定期的に防災訓練・避難訓練を実施している。生活習慣カリキュラムでの感染症予防も実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	法人内で定めた計画を事業所に編集し、定期的に避難・防災訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認を行うとともに、定期的に基本情報シートを更新している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	医師の指示書の該当者なし。保護者から状況を聞き、必要に応じて連携が取れるよう対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	事業所内で安全計画を策定している。安全点検表をもとに毎月設備や備品のチェックを行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	交通ルールや感染症対策など、カリキュラムの一環として実施し、内容を保護者と共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが発生した際の状況をまとめ、事例についての説明を丁寧に行い、職員間で情報を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	児童の様子等で気になったことに対しては職員間で情報を共有して相談し、ともに対応を考えることができている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に丁寧に説明し、緊急時の身体拘束に関する同意書に署名をいただいている		